

カリキュラム

機施設名： 山口職業能力開発促進センター

実施機関名： 有限会社ビジネススクール・オカモト

(D)データ活用	表計算ソフト活用	ピボットテーブルを活用したデータ分析
----------	----------	--------------------

コースのねらい	表計算ソフトのピボットテーブル機能を活用し、効率よく大量のデータを集計し、様々な視点からデータの分析を行うための手法を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	多角的データ分析	(1)ピボットテーブルとは ピボットテーブルの構成要素を理解する。 (2)ピボットテーブルの活用 データからピボットテーブルを作成し、集計する方法を練習する。 データの更新・表示形式の設定や、絞り込みの機能を練習する。	3.0
	2	ピボットグラフによるデータの見える化	(1)ピボットグラフとは ピボットグラフの構成要素を理解する。 (2)ピボットグラフの種類の変更 ピボットグラフを作成し、レイアウトの変更方法やグラフの編集方法を練習する。グラフの種類を変更し、視覚的な分析結果を変える方法を練習する。	1.0
	3	複数テーブルの分析	(1)リレーションシップとは リレーションシップの説明をする。 (2)リレーションシップの設定 リレーションシップにより複数のテーブルを関連付け、1つのデータベースとして扱えることを理解する。 (3)複数テーブルのデータ集計 複数のテーブルから必要な項目を抽出してまとめたピボットテーブルを作成していく方法を練習する。	2.0
	合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
表計算ソフトのピボットテーブル機能を活用し、データの分析を行う方法を習得する。ピボットテーブルの作成方法、機能の利用方法を学び、ピボットグラフの作成、編集方法の仕方を練習することによって、実務でも積極的に利用できる訓練内容とした。

講師から一言（リーフレット掲載用 50～70字程度）
ピボットテーブル機能を活用することで、関数を使用しなくても、大量のデータ集計や様々な視点でのデータ分析を行うことができます。